



【アジア Market 概況】

本日の東京市場では、ドル円は方向感のない動きとなりました。朝方は様子見の動きが続くなか一時 106.17 円まで下押す場面もみられましたが、小安く始まった日経平均が買い戻されたほか、休場明けの米 10 年債利回りが上昇するにつれて次第に下値を切り上げる展開に。一時 106.39 円まで値を上げました。ただ、昨日高値の 106.40 円が意識されるとその後は戻り売りが優勢に。米金利が上昇幅を縮小したことに伴って 106.14 円まで押し戻されました。豪ドル円は底堅い動き。RBA が政策金利を据え置きましたが、一部では利下げを予想する向きもあったほか、声明文でも次回利下げに対する示唆がなかったことから買い戻される展開に。71.10 円の安値から 71.46 円まで反発しています。日経平均は、寄り付きこそ弱含んだものの、その後は買い戻される展開。後場に入ってからのはもみ合いに終始しましたが、結局、4.97 円高で取引を終えています。

【海外 Market 見通し】

本日の欧州市場では、ユーロドルは売られる展開となっています。アジア時間は米長期金利の上昇を受けて売りが先行。昨日安値の 1.0958 ドルを下抜けて一時 1.0931 ドルまで値を下げています。市場では「債券絡みの動きがメインとなる」との見方が強まっていますが、「2017 年 4 月 24 日の安値 1.0821 ドルが視野に入ってきた」との声も聞かれています。ドル円は「8 月 29 日の高値 106.68 円がレジスタンスレベル」として意識されています。今日の経済指標では、17 時 30 分に 8 月英建設業 PMI が発表されます。18 時には 7 月ユーロ圏 PPI が予定されています。18 時 30 分には 4-6 月期南ア GDP が公表されます。22 時 45 分には 8 月米製造業 PMI 改定値が明らかになるほか、23 時には 8 月米 ISM 製造業景気指数、7 月米建設支出が発表されます。また、翌 6 時にはローゼンブレン米ボストン連銀総裁が講演します。

通貨ペア	高値	安値	16:00時点	通貨ペア	高値	安値	16:00時点
USDJPY	106.39	106.14	106.18	AUDJPY	71.46	71.10	71.39
EURUSD	1.0972	1.0931	1.0942	NZDJPY	67.03	66.68	66.82
EURJPY	116.62	116.10	116.18	日経平均	20662.23	20578.02	20625.16
GBPJPY	128.26	127.14	127.34	TOPIX	1514.05	1502.47	1510.79
CHFJPY	107.29	106.98	107.01	上海総合指数	2930.15	2915.20	2930.15
CADJPY	79.78	79.56	79.64	国債10年債利回り	-0.2570	-0.2770	-0.2770

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ
 株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。情報の内容につきましては、弊社が正確性、確実性を保証するものではありません。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、弊社は一切の責任を負いません。